指導者 飯田 祐子 AET Tom

1 単元名 Unit 3 E-pals in Asia (New Horizon English Course 2)

2 目標

(1) 初歩的な英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 不定詞の入った英文(副詞的用法・名詞的用法)を表現することができる。

(表現の能力)

(3) 不定詞の入った英文(副詞的用法・名詞的用法)を理解することができる。

(理解の能力)

(4) 不定詞の入った英文(副詞的用法・名詞的用法)の知識を身に付け、韓国やタイのマンガの文化を理解している。

(言語や文化に関する知識・理解)

3 題材について

(1) 教材観

インターネットによる情報交換の疑似体験をねらった題材設定で、情報のテーマは「世界におけるマンガ文化」とし、アジア諸国の子どもたちの共有の話題が取り上げられている。生徒が学習する中で、近くの国に対して親近感がわきやすく、興味深い内容となっている。また、不定詞の副詞的用法や名詞的用法をアンケートの回答や対話の中で導入できるので、自然な会話として理解しやすい。今回は、ゲーム形式で辞書を使わせ、不定詞の表現活動を豊かにしたいと考えている。また、この授業の中では、辞書を活用する場面を作った。ゲームをしながら、未習の単語を辞書で調べて、読み方を確認することで、辞書を使用することに慣れさせたい。

(2) 生徒の実態及び指導観

事前アンケート結果(調査人数*名 平成*年*月*日実施)

項目	結果
1 次の日本語に合うように、()内に適切な単語を書きなさい。	
① What do you want to buy? —I want ()() a new CD.あなたは何を買いたいですか。 —私は新しい CD が買いたいです。	正解 *名 誤答 *名 無答 *名
② What do you want to do in the future? —I want () () a doctor. 将来あなたは何になりたいですか。 私は医者になりたいです。	正解 *名 誤答 *名 無答 *名
③ Why did you get up early? —()() breakfast. なぜあなたは早く起きたのですか。 —朝食を作るためです。	正解 *名 誤答 *名 無答 *名
④ Why do you use a computer? -()() games.あなたはなぜコンピュータを使うのですか。 -ゲームをするためです。	正解 *名 誤答 *名 無答 *名
2 あなたは無人島で暮らすとしたら何を何のために持って行きますか。 書けるだけ書きなさい。	食料(生きるため)テント(寒さや雨から 防ぐため)ライター(明かりや料理に使う ため)工具(木を切るため),服(体温調 節のため),携帯電話(連絡をとるため) など
3 ①あなたは英和辞典を使いますか。	はい *名 いいえ *名
②①で「はい」答えた人はどのくらいの頻度で使うか。	毎日 *名 週に数回 *名 月に数回 *名 困ったときだけ *名

生徒の中には明るく元気に発音練習や音読練習には積極的に取り組む生徒が多いが、十分な声の大きさでは発音できない生徒もいる。さらに、英語に苦手意識をもっている生徒も見受けられる。コミュニケーション活動をできるだけ多く取り入れることで、書くこと・読むことだけでなく、バランスを考えて、聞くこと・話すことを向上させる場面設定の工夫をし、生徒たちが互いに深く学び合える活動を工夫していきたい。また、未習の単語を使うことに消極的な生徒が多い。今回は、グループワークを通して、自信をもって発話できるような展開をしていきたい。

アンケート結果によると、不定詞は未習のため、正答率が低い。不定詞の名詞的用法と副詞的用法をこの単元の中で定着させたい。また、無人島に持って行く物に関しては、「生きていくためにたくさんの食料を持って行く」など理由を明確にして何を持って行くかを半数以上の生徒が日本語では表現できているので、英語でも表現させたい。さらに、ほとんどの生徒が日頃から英和辞典を利用していないので、この授業の中で辞書を活用する場面を設けて、辞書の使い方についても慣れさせたい。

4 指導と評価の計画(5時間扱い 本時は第5時)

時	学習内容及び活動	関	表	理	知	評価の基準(方法)		
1	不定詞の副詞的用法を理解し, 運用できるよ			0	0	不定詞の副詞的用法の意味・用法を理解でき、言語活動で定		
	うに言語活動をする。					着を図ることができる。(観,ワ)		
2	不定詞の名詞的用法を理解し, 運用できるよ			0	0	不定詞の名詞的用法の意味・用法を理解でき、言語活動で定		
	うに言語活動をする。					着を図ることができる。(観,ワ)		
3	韓国とタイからの英文を読んで、理解し、音		0	0		韓国とタイからの英文を読んで、理解し、音読することがで		
	読する。					きる。(観,発)		
4	アジアのマンガサミットについて書いてあ	0	0	\circ		アジアのマンガサミットについて書いてある内容を理解し、		
	る内容を理解し、それを参考にして返信を書					それを参考にして返信を書くことができる。(観, ワ)		
	< ∘							
(5)	不定詞を含んだ文章の言語活動をする。	\circ	0	0		不定詞を含んだ文章の言語活動をする。(観,発)		
	(無人島で生きるために)					(無人島で生きるために)		

観:観察 発:発表 ワ:ワークシート

- 5 本時の学習
- (1) 目標
 - 不定詞の副詞的用法と名詞的用法を活用し、英問英答をすることができる。
 - 辞書の使い方を学習し、活用することができる。
- (2) 伝え合い、深め合う活動を促すための手だて
 - 自分たちが自信をもって発表することができるように、グループで英文作成をする。
- (3) 準備・資料

教科書, ノート, ワークシート, 英和辞典, 和英辞典

(4) 展開

学習内容及び活動	教師の支援と評価			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	JTE (T1)	AET		
1 辞書引き大会でウォームアップをする。 (1) reason (2) survival (3) nobody	・辞書引き大会を行うことで、辞書の引き方の復習をさせると共に辞書への関心を高める。 ・辞書引きの単語が本時の課題につながるよう連想させる。	・うまく辞書引きができない生徒 に対して支援する。・生徒と共に活動することで楽し い雰囲気をつくる。		

- 2 本時の学習課題に取り組む。
- (1) 本時の学習課題を確認する。

無人島で暮らすには何を何のために

持って行きますか?

ー持って行く物とその理由を英文で表現し, 先生と英問英答をしよう!-

- (2) 個人活動
 - ①ワークシートを見て、わからない単語を辞書を 使って調べる。
 - ②持って行く物とその理由の文章を作る。
 - ③無人島に持っていく物とその理由を合致させ る。
- (3) 言語活動を行う。
 - ①3~4人1組のグループを作る。
 - ②グループ内で自分たちの答え合わせをする。
 - ③自分が表現したい文章を選ぶ。
 - ④読み方の確認をする。
 - ⑤先生や友だちとインタビューする。
 - Q: What do you want to bring?
 - A: I want to bring a knife.
 - Q: Why do you want to bring a knife?
 - A: To cut food.

内容を確認する。

⑥自分が本当に何のために何を持って行きたいか を書く。

Ex.

I want to bring many tools to build a new house.

3 学習記録表で本時の学習を振り返り,次時の学習

- ・ワークシートには、未習語が入っているため、わからない単語 に対しては、辞書を使って意味調べをするよう助言する。
- ・未習語の読み方がわからない生徒には教師が支援する。
- ・辞書の引き方がわからない生徒に対して教師が支援する。
- ・辞書の中のどの意味なのか迷う生徒に対して教師が支援する。
- ・個人活動なので、できるだけ自分の力で課題解決するよう助言 する。
- ・文の作り方がわからない生徒に教師が助言する。

・本時の活動について説明し、興味をもたせる。

- ・なかなか文章の組み立てができない生徒に対してヒントカードを出す。
- ○それぞれがどのような文章を組 み立て、文章を合致させたのか を確認させる。
- ・読み方の確認をさせる。
- ・インタビューをして, できるだ けワークシートを見ないで発話 するよう, 支援する。
- ○読み方がわからない生徒に対して,同じグループ内で助け合い, 読めるようにする。
- ○英文がうまく作れない生徒に対して支援をするよう助言する。
- ・本当に持って行きものを自由に 考えさせる。その際に和英辞典 を使用しても良いことを伝え る。

適切な文章を作ることができたか。また、無人島に持って行く物とその理由が合い、 先生と英問英答ができるか。

- (A) 何も見ないで先生と英問英答 をする。
- (C) 読み方の書いてあるワークシートを見ながら,英問英答をする。
- ・英問英答が成立するよう,英 文をゆっくり言うなどする。
- ・生徒の英文が聞き取れないと きには、声の大きさとスピー ド、発音について助言する。
- ○学習記録表では、本時の授業で学んだ新しい情報について自分なり にまとめた内容を記録させる。
- ○: 伝え合い、深め合う活動を促すための手だて

□ : 評価(おおむね満足と判断される規準)

(A): A 十分に満足できると判断される生徒に対する手だて

(C): C 努力を要すると判断される生徒に対する手だて